

令和
6年度

「防災とボランティア週間」 防災講演会

【主催】北陸地方防災エキスパート、特定非営利活動法人新潟県砂防ボランティア協会、新潟県治山ボランティアセンター
【協賛】一般社団法人北陸地域づくり協会

阪神・淡路大震災を契機に、毎年1月17日は「防災とボランティアの日」、1月15日から21日までが「防災とボランティア週間」と定められました。この「防災とボランティア週間」において、防災に対する意識の高揚とともに、災害への備えの充実強化を図ることを目的として「防災講演会」を開催いたします。

日時 2025年1月20日(月) 15:00～17:15

会場 アートホテル新潟駅前(新潟市中央区笹口1-1)
4F「越後」

※駐車場はご用意しておりません。
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

参加費
無料

定員 100名(定員に達し次第締め切ります。ご了承ください)

プログラム

* (一社)建設コンサルタンツ協会 CPD(継続教育)認定プログラム申請中 [単位 2.0]

講演1:液状化層の実態解析と今後の対策—2024年能登半島地震を例に—

講師: **卜部 厚志 氏**(新潟大学 災害・復興科学研究所 所長・教授)

1966年埼玉県出身。1994年新潟大学大学院自然科学研究科修了、博士(理学)取得。2019年新潟大学教授、2022年より現職。地震時の平野での地盤災害、伏在断層の活動履歴、津波堆積物などから災害の予測と軽減の研究の傍ら、広く防災という観点から、防災に関する公開講座や子供向けの防災イベントなど、防災教育の普及にも取り組む。

講演2:全国随一の伝統的料亭街「古町花街」—その文化的価値と保全活動—

講師: **久保 有朋 氏**(古町花街の会・古町花街地区防災会 事務局長)

1991年新潟市南区出身。新潟大学で建築学を学び2020年博士(学術)取得。景観・都市史等の視点から、あらゆる日本文化を継承する稀有な都市空間「花街」を研究。新潟市の「古町花街」に拠点を置き、伝統文化の継承、歴史的町並みの保全に取り組む。また、古町花街の防災力をハード・ソフト両面から強化していく活動にも注力する。2020年より旧齋藤家別邸学芸員。

●●●●● 下記に必要事項をご記入のうえ、FAXもしくはメール(※1)にてお申し込みください。 ●●●●●

参加申込先 FAX:025-383-1205 / MAIL: bousai@hokurikutei.or.jp

北陸地方防災エキスパート事務局 (一社)北陸地域づくり協会 企画事業部 TEL:025-381-1160

◆締め切り:2025年1月10日(金)◆

【会社(団体)名】

【連絡先(TEL)】

【申込者氏名】

(フリガナ) 参加希望者の氏名	CPD	(フリガナ) 参加希望者の氏名	CPD

※1. メールで申し込まれる場合は、タイトルを「防災講演会参加申込」とし上記必要事項を記載してください。

※2. CPD受講証明書の要否について、「CPD」欄に○×をご記入ください。

※3. 聴講券は発行いたしません。受付事務局からお断りしない限り、申し込みどおりに受け付けます。

※4. 申し込みにより知り得た個人情報は、本講演会開催にかかわる必要な範囲でのみ利用させていただきます。